

お願いとご注意

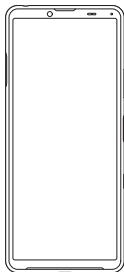
— 重要なお知らせ —

XPERIA 10_{III}

お買い上げ品の確認

このたびは、「Xperia 10 III」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ Xperia 10 III本体



■ クイックスタート

■ お願いとご注意（本書）

- 本機「Xperia 10 III」のモデル番号は「A102SO」です。
- 本書ではmicroSDHCカードおよびmicroSDXCカード（microSDカードを含む）を、以降「SDカード」と記載いたします。
- その他のオプション品につきましては、お問い合わせ先（→P.50）までご連絡ください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

本機を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

また、お読みになった後は本書を大切に保管してください。

こんな使いかたはやめましょう

本機をご利用になるときに、誤った使いかたをすると、けがや故障の原因となります。



分解・改造

分解や改造をしないでください。



水濡れ

手や本機が濡れている状態でカバーの開閉はしないでください。



外部接続端子の接触禁止

外部接続端子に金属などを触れさせないようにしてください。



指定品以外の使用

本機に使用する機器は、当社の指定品以外のものは使用しないでください。



加熱の禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に本機を入れて加熱しないでください。



運転中

自動車運転中のご使用は危険なため、法律で禁止されています。車を安全なところに停車させてからご使用ください。

このようなときは必ず電源を切りましょう

■ 航空機内

運航の安全に支障をきたす可能性があります（航空機内では、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください）。

■ 病院内

病院など医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従いましょう。

■ 混雑した場所など

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性があります。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがありますので、事前に本機の通信機能が使用できない状態（例：機内モード）に切り替えるか、または電源をお切りください。

■ 映画館・劇場・美術館など公共の場所

静かにすべき公共の場所で本機を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

マナーを守るための便利な機能

マナーモード

電話がかかってきたときなど、着信音が鳴らないようにします。

伝言メモ

電話を受けられないとき、相手の方の伝言を録音できます。

留守番電話サービス

圏外時や電話を受けられないとき、留守番電話センターで伝言をお預かりします。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本機、ACアダプタ（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については、「防水／防塵性能について」（→P.32）を参照してください。



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については、「防水／防塵性能について」（→P.32）を参照してください。



禁止

本機に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意いただきたい例

- ・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- ・電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

本機の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

本機の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については、「防水／防塵性能について」（→P.32）を参照してください。



水濡れ禁止

充電端子やUSB Type-C™接続端子、ヘッドセット接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については、「防水／防塵性能について」（→P.32）を参照してください。



水濡れ禁止

オプション品は、ワイモバイルが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

警告

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子やUSB Type-C接続端子、ヘッドセット接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



禁止

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本機の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜く。

- ・本機の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

注意

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については、「防水／防塵性能について」(→P.32)を参照してください。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

SIMカード／SDカードのトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

本機を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本機やACアダプタ（オプション品）の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。



指示

本機の手扱いについて

⚠ 危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

本機内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、ただちに医師の診療を受けてください。

本機内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。



指示

⚠ 警告

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本機内のSIMカード／SDカード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、SIMカードやSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。



禁止

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本機を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本機に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。ハンズフリーに設定して通話すると、本機から大きな音が出ます。待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえで使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。



※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部や背面カバー、カメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本機の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、ただちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



ペットなどが本機に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



⚠ 注意

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本機をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後ただちに医師の診療を受けてください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本機は、ワイモバイルショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後ただちに医師の診療を受けてください。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認のうえご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合はただちに使用を中止してください。



本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、ただちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については、「使用材料」(→P.18)を参照してください。



指示

本機の手話口(中央上部)、スピーカー(背面左下部)、バイブレータ(背面右下部)に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

子供や監督を必要とする方などの手の届くところに置かないでください。

本機は磁石を使用しています。磁石を飲み込むと、窒息の危険性や、腸などを傷つけ深刻な症状を引き起こすおそれがあります。

磁石を飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。



指示

医療機器に近づけないでください。

本機は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与えるおそれがあります。本機をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合は、本機のご使用前に担当医師にご相談ください。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



指示

ACアダプタ(オプション品)の取り扱いについて

⚠ 警告

ACアダプタ(オプション品)のコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタ（オプション品）には触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタ（オプション品）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタ（オプション品）を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタ（オプション品）に変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本機にACアダプタ（オプション品）を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

濡れた手でACアダプタ（オプション品）のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタ（オプション品）で充電してください。

誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ（オプション品）：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

海外で使用可能なACアダプタ（オプション品）：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

ACアダプタ（オプション品）の電源プラグをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタ（オプション品）のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。

ACアダプタ（オプション品）のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本機にACアダプタ（オプション品）を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、ただちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

⚠ 注意

コンセントにつないだ状態でACアダプタ（オプション品）に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。



SIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。



医用電気機器近くおよび医療機関内での取り扱いについて

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



使用材料

Xperia 10 III本体

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（上部、下部、側面部）	ナイロン樹脂（ガラス繊維入り）	塗装
外装ケース（音量キー／ズームキー、Google アシスタントキー）	ポリカーボネート樹脂	塗装
外装ケース（SIMカード／SDカード挿入口のカバー）	ポリカーボネート樹脂（ガラス繊維入り）	塗装
外装ケース（カメラリング（メインカメラ周辺部））	アルミニウム合金	アルマイト処理
透明板（ディスプレイ、背面カバー）	強化ガラス	AFP処理
透明板（カメラレンズ）	強化ガラス	AFP処理+AR処理
電源キー／指紋センサー	エポキシ樹脂	塗装
受話口メッシュ	PET	—
スピーカーメッシュ	ポリカーボネート樹脂	—
SIMカード／SDカード挿入口のカバーのゴムパッキン	シリコンゴム	—
SIMカード／SDカードのトレイ	ポリカーボネート樹脂（ガラス繊維入り）+SUS板金	PVD処理

お願いとご注意

お取り扱いについて

■ 本機、SIMカード、ACアダプタ（オプション品）について（共通）

- 水をかけないでください。
ACアダプタ（オプション品）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- 破損や変形など、外観上に異常がみられた場合は、防水／防塵性能が維持できない場合があります。
- 極端な高温、低温、多湿の場所では使用しないでください。
周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、周囲温度36℃～40℃、湿度86%～90%であれば一時的な使用は可能です。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、使用しないでください。
 - － 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - － 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 本機の外装ケースは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 電池は本体に内蔵されており、取り外せません。
- 本機の内蔵電池はリチウムイオン電池です。



Li-ion 00

- リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になりましたら電話機本体、電池、および充電器は、家庭ゴミとして捨てず、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店へお持ち下さい。
- フル充電や電池残量が十分でない状態で保管すると内蔵電池の性能低下の原因となります。
電池残量が40パーセント程度での保管をおすすめします。
- 電源キーを押して電源を切っても、本機は、電源からは完全には遮断されていません。電源から切り離すためには、ACアダプタ（オプション品）の電源プラグをコンセントから抜く必要があります。不具合を感じた場合はすぐに

コンセントから電源プラグを抜けるよう、ACアダプタ（オプション品）は、コンセントの近くでお使いください。

- 本機の温度が上昇するとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。また、USB Type-C接続端子、ヘッドセット接続端子を変形させないでください。故障の原因となります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となります。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。
 - － 乾いた布などで強く擦ると、傷がつく場合があります。
 - － 濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。
 - － アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、表面の仕上げを傷めることがあります。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 磁気データや磁気を帯びたものに近づけないでください。キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気データが消えたり、本機の誤動作の原因となります。

■ 充電について

- 充電中、ACアダプタ（オプション品）が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電源を切った状態で充電を開始すると、操作はできませんが充電状況をお知らせする画面が起動します。このため、電源を切る必要がある場所では充電を行わないでください。
- 電池残量は、画面上部のステータスバーで確認できます。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の状態により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、「ワイモバイルショップ」などで、本機をお預かりして有料にて承ります。ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先（→P.50）へご相談ください。
- 充電しながらアプリなどを長時間使用すると、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。

■ ディスプレイ（タッチパネル）について

- 本機のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - － 手袋をしたままでの操作
 - － 爪の先での操作
 - － 異物を操作面にのせたままでの操作
 - － 保護シートやシールなどを貼り付けての操作
 - － ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - － 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - － 水中での操作
- ディスプレイは強化ガラスを使用してガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となることがあります。
- 本機は有機ELディスプレイを使用しているためディスプレイに残像が発生することがあります。また、同じ画像を長時間表示させたり、画面の明るさのレベルを必要以上に明るく設定したり、極端に長く使用したりすると、部分的に明るさが落ちたり、色が変わったり、焼き付きが発生することがあります。見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合がありますが、これらは有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

■ 音量について

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。



■ 電波法に基づく認証について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、次の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- ・ 本機を分解／改造すること
- ・ 改造された本機は絶対に使用しないでください。
改造した本機を使用した場合は電波法に抵触します。
本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本機の電子銘板に表示されております。
電子銘板は次の操作でご確認いただけます。
確認方法：ホーム画面で (設定) → [デバイス情報] → [認証]
本機のネジを外すなどして内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- ・基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

指紋認証機能について

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- ・指紋認証は、指紋の特徴情報を利用して認証を行います。指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- ・認証性能（指紋センサーに正しく指を当てた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - － お風呂上がりなどで指がふやけている
 - － 指が水や汗などで濡れている
 - － 指が乾燥している
 - － 指に脂（ハンドクリームなど）が付着している
 - － 指が泥や油で汚れている
 - － 手荒れや、指に損傷（切傷やただれなど）がある
 - － 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - － 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - － 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- ・指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本機を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ・ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、指紋センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなどの先の尖ったものでつついたりしないでください。
- ・指紋センサー表面にシールなどを貼り付けたり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ・指紋センサーにほこりや皮脂などの汚れなどが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- ・指を当てる時間が短すぎたり長すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中央に触れるようにまっすぐに当ててください。
- ・指紋センサーに指に触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

Bluetooth®/Wi-Fi®（無線LAN）機能について

■ 周波数帯について

本機のBluetooth機能/Wi-Fi（無線LAN）機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4FH4/XX8/DS4/OF4

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/XX/DS/OF：変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

8：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

■ ■ ■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国や地域により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上のご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- ー 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ー 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- ー その他、ご不明な点につきましては、ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先（→P.50）までご連絡ください。

■ Wi-Fi（無線LAN）対応機器との電波干渉について

本機のBluetooth機能とWi-Fi（無線LAN）対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Wi-Fi（無線LAN）対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ー Bluetooth機器とWi-Fi（無線LAN）対応機器の位置を離してください。必要な距離は機器によって異なります。
- ー 改善しない場合は、Bluetooth機器またはWi-Fi（無線LAN）対応機器の電源を切ってください。

■ Wi-Fi（無線LAN）について

- Wi-Fi（無線LAN）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
 - － 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなる場合があります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - － テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - － 近くに複数のWi-Fi（無線LAN）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- Wi-Fiをオンにしてから利用可能なWi-Fiネットワークを検索して接続します。
- Wi-Fi（無線LAN）機能を使用してインターネットへアクセスする場合、事前にWi-Fiネットワークへの接続を行ってください。
- Wi-Fi（無線LAN）機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fiネットワークの電波強度は、お使いの機器の位置によって異なります。Wi-Fiルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。
- Wi-Fi（無線LAN）機能を使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。

■ 2.4GHz機器使用上のご注意

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- － 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- － 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいたうえで、ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先（→P.50）までご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

- － その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先（→P.50）までご連絡ください。

■ 5GHz機器使用上のご注意

本機は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を使用できます。

- － 5.2GHz帯（W52／36、40、44、48ch）
- － 5.3GHz帯（W53／52、56、60、64ch）
- － 5.6GHz帯（W56／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch）

5.2／5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、Wi-Fi（無線LAN）を搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れたりすることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- － Wi-Fi（無線LAN）機器とBluetooth機器の位置を離してください。必要な距離は機器によって異なります。
- － 改善しない場合はBluetooth機器の電源を切ってください。

SIMカードについて

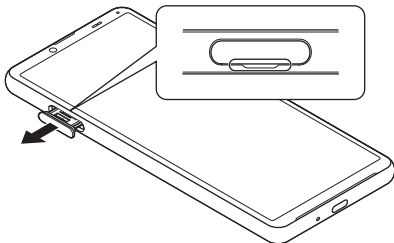
SIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。

- SDカードを取り付けている場合は、必ずSDカードのマウントを解除してから、SIMカードの取り付け／取り外しを行ってください。

■ SIMカードを取り付ける

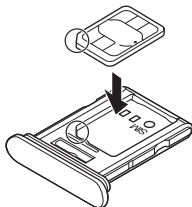
1 本体からトレイを取り外す

- ミゾに指先（爪）をかけて、SIMカード／SDカード挿入口のカバーをまっすぐに引き出してください。



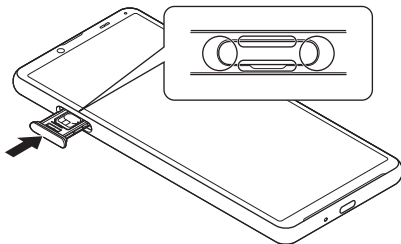
2 SIMカードのIC（金属）部分を上にしてトレイにはめ込む

- 切り欠きの位置にご注意ください。
- SIMカードがトレイから浮かないように、確実にはめ込んでください。



3 本体を水平にしてトレイをまっすぐに差し込む

- トレイを差し込む方向にご注意ください。
- ○部分をしっかりと押し、本体とSIMカード／SDカード挿入口のカバーにすき間がないことを確認してください。

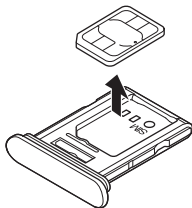


■ SIMカードを取り外す

1 本体からトレイを取り外す (→P.26)

- ・ミゾに指先(爪)をかけて、SIMカード／SDカード挿入口のカバーをまっすぐに引き出してください。

2 トレイからSIMカードを取り出す



3 本体を水平にしてトレイをまっすぐに差し込む (→P.27)

- ・トレイを差し込む方向にご注意ください。
- ・○部分をしっかりと押し、本体とSIMカード／SDカード挿入口のカバーにすき間がないことを確認してください。

SDカードについて

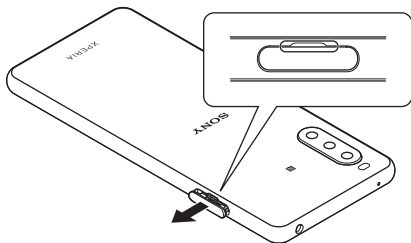
データをSDカードに保存したり、SDカード内のデータを本機に取り込んだりできます。SDカードは互換性のある他の機器でも使用できます。

- SDカードは同梱されていません。必要に応じて別途ご購入ください。
- 本機では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、1TBまでのmicroSDXCカードに対応しています。
- 対応のSDカードは各SDカードメーカーへお問い合わせください。
- SDカードの使用中は、SDカードを取り外したり、本機の電源を切ったりしないでください。データの消失、故障の原因となります。

■ SDカードを取り付ける

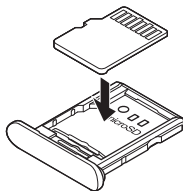
1 本体からトレイを取り外す

- ミゾに指先（爪）をかけて、SIMカード／SDカード挿入口のカバーをまっすぐに引き出してください。



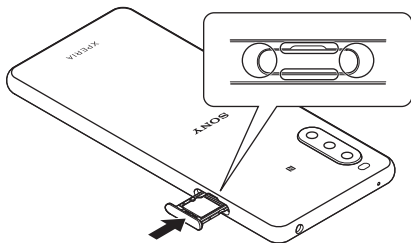
2 SDカードの端子面を上にしてトレイにはめ込む

- SDカードがトレイから浮かないように、確実ににはめ込んでください。



3 本体を水平にしてトレイをまっすぐに差し込む

- トレイを差し込む方向にご注意ください。
- 部分をしっかりと押し、本体とSIMカード／SDカード挿入口のカバーにすき間がないことを確認してください。



■ SDカードを取り外す

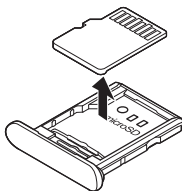
必ずSDカードのマウントを解除してから行ってください。

1 ホーム画面で ⚙️（設定）→ [ストレージ] → 「SDカード」の
▲

2 本体からトレイを取り外す（→P.29）

- ・ ミゾに指先（爪）をかけて、SIMカード／SDカード挿入口のカバーをまっすぐに引き出してください。

3 トレイからSDカードを取り出す



4 本体を水平にしてトレイをまっすぐに差し込む（→P.30）

- ・ トレイを差し込む方向にご注意ください。
- ・ ○部分をしっかりと押し、本体とSIMカード／SDカード挿入口のカバーにすき間がないことを確認してください。

防水／防塵性能について

SIMカード／SDカード挿入口のカバーを確実に取り付け付けた状態で、IPX5、IPX8の防水性能、IP6Xの防塵性能を有しています。

IPX5：内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、携帯電話としての機能を有することを意味します。

IPX8：常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに携帯電話としての機能を有することを意味します。

IP6X：直径75 μ m以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに携帯電話の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

本機が有する防水／防塵性能でできること

- ・ 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
 - － 手が濡れているときや本機に水滴がついているときには、SIMカード／SDカード挿入口のカバーの開閉はしないでください。
- ・ 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
 - － やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
 - － 洗うときはSIMカード／SDカード挿入口のカバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。
- ・ プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

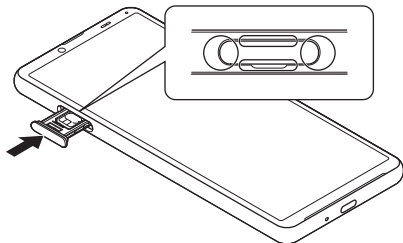
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- ・ 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- ・ SIMカード／SDカード挿入口のカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- ・ 受話口、送話口／マイク、スピーカー、セカンドマイク、USB Type-C接続端子、ヘッドセット接続端子などを尖ったものでつかないでください。
- ・ 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- ・ SIMカード／SDカード挿入口のカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持するうえで重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

■ SIMカード／SDカード挿入口のカバーの閉じかた

矢印の方向へトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本体とカバーにすき間がないことを確認してください。



- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回部品の交換をおすすめします。「ワイモバイルショップ」などで、本機をお預かりして部品の交換を有料にて承ります。ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先（→P.50）へご相談ください。

ご使用にあたってのご注意

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う



砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- ・ 規定（→P.32）以上の強い水流を直接当てないでください。IPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- ・ 万一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・ 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- ・ 水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- ・ 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- ・ プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- ・ 本機は水に浮きません。
- ・ 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- ・ 受話口、送話口／マイク、スピーカー、セカンドマイク、USB Type-C接続端子、ヘッドセット接続端子に水滴を残さないでください。通話不良となったり、衣服やかばんを濡らしてしまうことがあります。
- ・ SIMカード／SDカード挿入口のカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先（→P.50）までご連絡ください。

- SIMカード／SDカード挿入口のカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先(→P.50)にて部品をお取り替えください。
 - 本機が水で濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。
 - USB Type-C接続端子、ヘッドセット接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどにより、故障・やけど・火災の原因となります。
 - 湿気の多い場所に長時間放置しないでください。ご使用後は、浴室から取り出しておいてください。
 - 寒い屋外から暖かい浴室などに急に本機を持ち込まず、一度室内に置いて本体が温まってから持ち込んでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

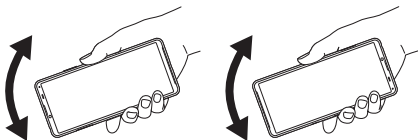
水抜きについて

本機を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1** 本機をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

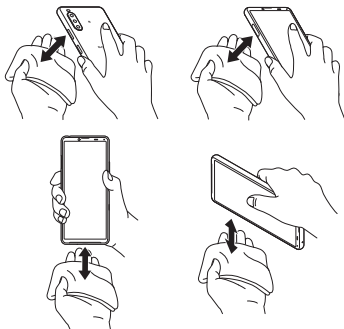


- 2** 本機をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り（左図）、上下の向きを変え、再度20回程度振る（右図）



3 本機内部より出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

- 特に受話口、送話口／マイク、スピーカー、USB Type-C接続端子、セカンドマイク、ヘッドセット接続端子、電源キー／指紋センサー、音量キー／ズームキー（上下）、Google アシスタントキー、SIMカード／SDカード挿入口のカバー、カメラリング（メインカメラ周辺部）は水が抜けにくいいため、布などに押し付けるように下向きにして拭き取ってください。



- 上下の向きを変えて拭き取ってください。

4 乾いた清潔な布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して自然乾燥させる

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本機が濡れていないか確認してください。本機が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本機または充電器が濡れている状態ではUSB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。本機は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、本機やUSB Type-Cプラグに付着した液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や異物により、感電や回路がショートして、故障・やけど・火災の原因となります。
- ACアダプタ（オプション品）やUSB Type-Cケーブル（市販品）は、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ（オプション品）やUSB Type-Cケーブル（市販品）に触れないでください。感電の原因となります。

輸出管理規制について

本機は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本機を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

The products may be subject to the application of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other related laws and regulations in Japan.

In addition, the Export Administration Regulations (EAR) of the United States may be applicable.

In cases of exporting or reexporting the products, customers are requested to follow the necessary procedures at their own responsibility and cost. Please contact the Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan or the Department of Commerce of the United States for details about procedures.

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本機を利用して撮影またはウェブサイトからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本機を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにウェブサイトに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマーク、「Y!」のロゴマークは、米国 Oath Inc.の登録商標または商標です。
- Qualcomm Quick Charge is a product of Qualcomm Technologies, Inc.
- Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
Qualcomm Quick Charge is a trademark of Qualcomm Incorporated.
All Qualcomm Incorporated marks are used with permission.
- Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニーグループ株式会社はライセンスに基づいて使用しています。



- Wi-Fi®, Wi-Fi Direct®はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。



- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- DisplayPortはVideo Electronics Standards Associationの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- はNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Google Calendar、Google Calendar ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、Google ドキュメント、Googleドキュメント ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、スプレッドシート、Google スプレッドシートロゴ、Google スライド、Google スライドロゴ、YouTube Music、YouTube Music ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google Duo、Google Duo ロゴ、Google フォト、Google フォト ロゴ、Google Pay、Google Pay ロゴ、Google アシスタント ロゴ、Google レンズ、Google レンズロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- おサイフケータイは、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FacebookおよびFacebook ロゴはFacebook, Inc.の登録商標です。
- Amazon、Amazon.co.jp およびそのロゴ、AmazonプライムはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- moraおよびモーラの名称、ロゴは、株式会社レーベルゲートの登録商標です。
- 本機は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および／または(ii) 商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることはありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, LLCより入手できます (<https://www.mpeg-la.com>)



mpegla.com)。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。

- ・「ソニー」および「SONY」、ならびに本書で使用される商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーまたはその関連会社の登録商標または商標です。その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは称号です。
- ・FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- ・本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
- ・本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

本製品の比吸収率（SAR）について

本項目における「A102SO」とは、本機「Xperia 10 III」を示しています。

この機種A102SOの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

本製品の比吸収率（SAR）については、取扱説明書／オンラインマニュアルを参照してください。

<https://ymobile.jp/s/v5e60>

暗証番号について

本機のご利用にあたっては、交換機用暗証番号が必要になります。

交換機用暗証番号とは、ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合などに必要な番号です。

- ・交換機用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（→P.50）までご連絡ください。
- ・暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

PINコード設定

PINコードとは、SIMカードの暗証番号です。第三者による本機の無断使用を防ぐために使用します。お買い上げ時には「9999」に設定されています。

- PINコードの入力を3回間違えると、PINロック状態となります。その際は、PINロック解除コード（PUKコード）が必要となります。
- PUKコードについては、お問い合わせ先（→P.50）までご連絡ください。
- PUKコードを10回間違えると、SIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。その際には、ワイモバイルショップにてSIMカードの再発行（有償）が必要となります。

SIMカードをロックする

PINコードを有効にすることで、SIMカードを本機に取り付けた状態で電源を入れたとき、PINコードを入力する画面を表示するように設定できます。

- 1 ホーム画面で⚙（設定）→ [セキュリティ] → [SIMカードロック設定]
- 2 [SIMカードをロック] → PINコードを入力 → [OK]

PINコードを変更する

PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ操作できます。

- 1 ホーム画面で⚙（設定）→ [セキュリティ] → [SIMカードロック設定]
- 2 [SIM PINの変更] → 現在のPINコードを入力 → [OK]
- 3 新しいPINコードを入力 → [OK] → 新しいPINコードを再度入力 → [OK]

ソフトウェア更新

- ・ソフトウェア更新は電波状況のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。
- ・ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状態（故障・破損・水濡れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ソフトウェア更新を行うと設定の一部がお買い上げ時の状態に戻ることがあります。
- ・ソフトウェア更新中は絶対にSIMカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先（→P.50）までご連絡ください。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新は更新内容によって操作手順が異なります。

■ ソフトウェアを自動で更新する

ソフトウェアが自動で更新されます。

更新が完了したら通知パネルに表示される通知をタップし、本機を再起動してください。

■ ソフトウェアを手動で更新する

通知パネルに表示されるソフトウェア更新の通知をタップし、画面の指示に従って操作してください。

次の手順でも手動更新をすることができます。

ホーム画面で （設定）→ [システム] → [詳細設定] → [システムアップデート] → 画面の指示に従って操作

- ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電源キーと音量キーの上を同時に約8秒間長押しし、本機が連続して3回振動したあとに指を離し、本機の電源を強制的に切ったあとに電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、お問い合わせ先（→P.50）にご相談ください。
- パソコンに接続して更新を行う場合は、「ソフトウェア更新」を行うためのソフトウェア（Xperia Companion）をパソコンにインストールする必要があります。本機とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続し、画面の指示に従ってインストールしてください。

保証とアフターサービス

保証について

- ・ 保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- ・ 無料修理規定に基づき無料修理を行います。無料修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。

<https://cdn.softbank.jp/mobile/set/common/pdf/legal/spguide/common/warranty.pdf>

- ・ 保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については無料修理保証の対象外となります。
- ・ 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（→P.50）または最寄りのワイモバイルショップへご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- ・ 保証期間中は無料修理規定に基づいて修理いたします。

主な仕様

Xperia 10 III本体

サイズ (幅×高さ×奥行)	約68mm×約154mm×約8.3mm
質量	約169g
連続通話時間 ^{※1}	約2,440分 (3G) 約1,330分 (GSM) 約2,210分 (4G : LTE) 約2,210分 (5G)
連続待受時間 ^{※1}	約840時間 (3G) 約815時間 (GSM) 約835時間 (4G : AXGP網) 約825時間 (4G : FDD-LTE網) 約825時間 (5G)
充電時間	約135分 ※ACアダプタ (USB PD対応 USB Type-C™急速充電ACアダプタ [ZSDBAS] (SB-AC20-TCPD)) の場合 (対応充電器について、詳しくはワイモバイルのウェブサイトを参照してください。)

※1 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって短くなることがあります。

内蔵電池

電圧	DC3.87V
使用電池	リチウムイオン電池
容量 ^{※2}	4,500mAh

※2 使用可能時間の目安となる電池の容量

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

■ 各種お手続き (My Y!mobile)

待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金／データ量の確認・プラン等各種変更ができます。

<http://ymobile.jp/s/BvhGB>



■ カスタマーサポート

機種の操作やサービス内容などのお困りごと・お問合せ内容に応じて、最適な解決方法をご案内します。

<https://ymobile.jp/s/QOhGf>



ワイモバイル カスタマーサポート

検索



2021年4月第1版発行 ソフトバンク株式会社
ご不明な点はお求めになったワイモバイル携帯電話取扱店
にご相談ください。

機種名:Xperia 10 III

製造元:ソニー株式会社



5-030-473-01

503047301